

# カスタムマスター管理

---

2022.10.06

# 改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2014-04-16	V4.0	--	初版発行
2014-04-28	V4.0	P21、P30、 P41	CustomMasterInputSheet.xlsb操作方法を追記
2015-08-03	V5.0 機能強化版 その2	P33	ラベルの位置設定についての説明を追記
2018-06-15	V6.0	P21	カスタムマスター定義用Excelブック（CustomMasterInputSheet.xlsb）の 説明を追記
2020-11-11	V8.0	P45	カスタムマスターレコードの確認で、部分一致検索、完全一致検索を追記
2022-10-6		P38	カスタムマスター定義用Excelブック（CustomMasterInputSheet.xlsb） ご利用時の注意事項を追記

# 目次

## ➤ はじめに

- カスタムマスター設定 全体の流れ
- カスタムマスターの設定順序フロー
- カスタムマスターの自動同期を有効にする
- カスタムマスターの管理権限設定

## ➤ カスタムマスターの構成

- カスタムマスターのタブレット保存可否設定
- 手動ダウンロードとiPad保持期間
- カスタムマスターのフィールド構造
- カスタムマスター取り込みCSVレイアウトの基本構造
- カスタムマスター取り込みCSVレイアウト マスター行
- カスタムマスター取り込みCSVレイアウト レコード行

## ➤ カスタムマスター登録

- カスタムマスターの登録・更新方法
- EXCELファイルでのCSV作成
- EXCELファイルからCSV出力
- CSVのアップロード
- ラベルの位置設定
- 画像付のCSVを作成、アップする方法

# 目次

- カスタムマスターの更新
  - カスタムマスターをManagerから取得する
  - CSVをツールに展開する
  - カスタムマスターの更新方法
- カスタムマスターの管理
  - カスタムマスターの一覧表示
  - カスタムマスターの設定内容を確認する
  - カスタムマスターのレコード情報を確認する
  - カスタムマスターのラベル・参照権限情報を確認する
  - カスタムマスターの設定内容を変更する
  - カスタムマスターの削除
  - カスタムマスター削除の注意点
- カスタムマスター用のラベルを設定する
  - ラベル管理でのカスタムマスター用ラベルの設定
  - カスタムマスター用ラベルの編集
  - カスタムマスター用ラベルの参照権限設定
  - カスタムマスター一覧でのラベルの設定
  - カスタムマスターにラベルをつける
  - カスタムマスターにラベルをつける（一覧画面）

# 目次

- ▶ カスタムマスター参照権限を設定する
  - カスタムマスター参照権限
  - カスタムマスターの参照権限設定
- ▶ カスタムマスターのダウンロード履歴
  - iPadへのダウンロード履歴を参照

はじめに

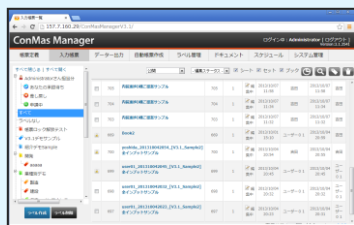
---

# カスタムマスター設定 全体の流れ

カスタムマスターを利用するには、以下の流れで設定を進めます。  
本マニュアルでは、Managerでの「カスタムマスターの登録・編集」に関して説明します。

## Manager

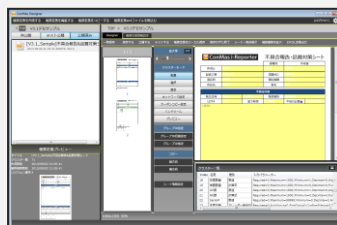
カスタムマスターの登録・編集



- カスタムマスター情報の登録と編集
- カスタムマスターの管理全般
- カスタムマスターの権限設定
- カスタムマスターのラベル設定

## Designer

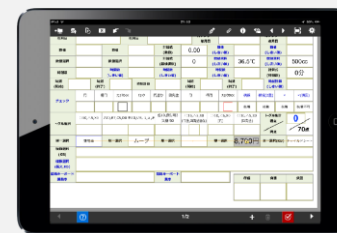
帳票定義のクラスターとカスタム  
マスターの関連付け



- 帳票定義内クラスターへのカスタム  
マスター設定
- カスタムマスター設定したクラス  
ターの親子関係の紐付け

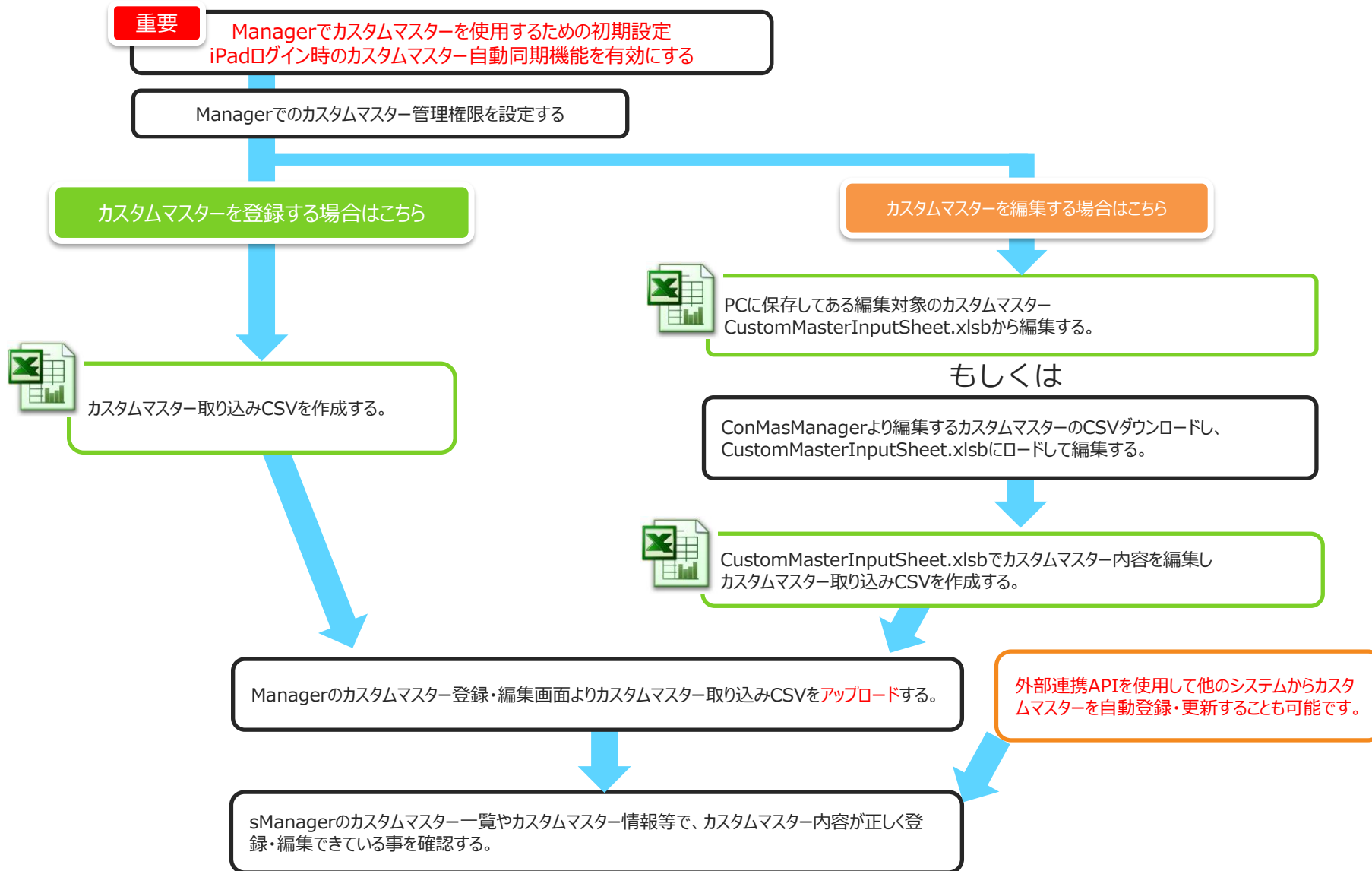
## iPad アプリ

カスタムマスターでの入力



- カスタムマスターでの入力
- カスタムマスターのダウンロード
- カスタムマスター情報の更新と自動  
削除

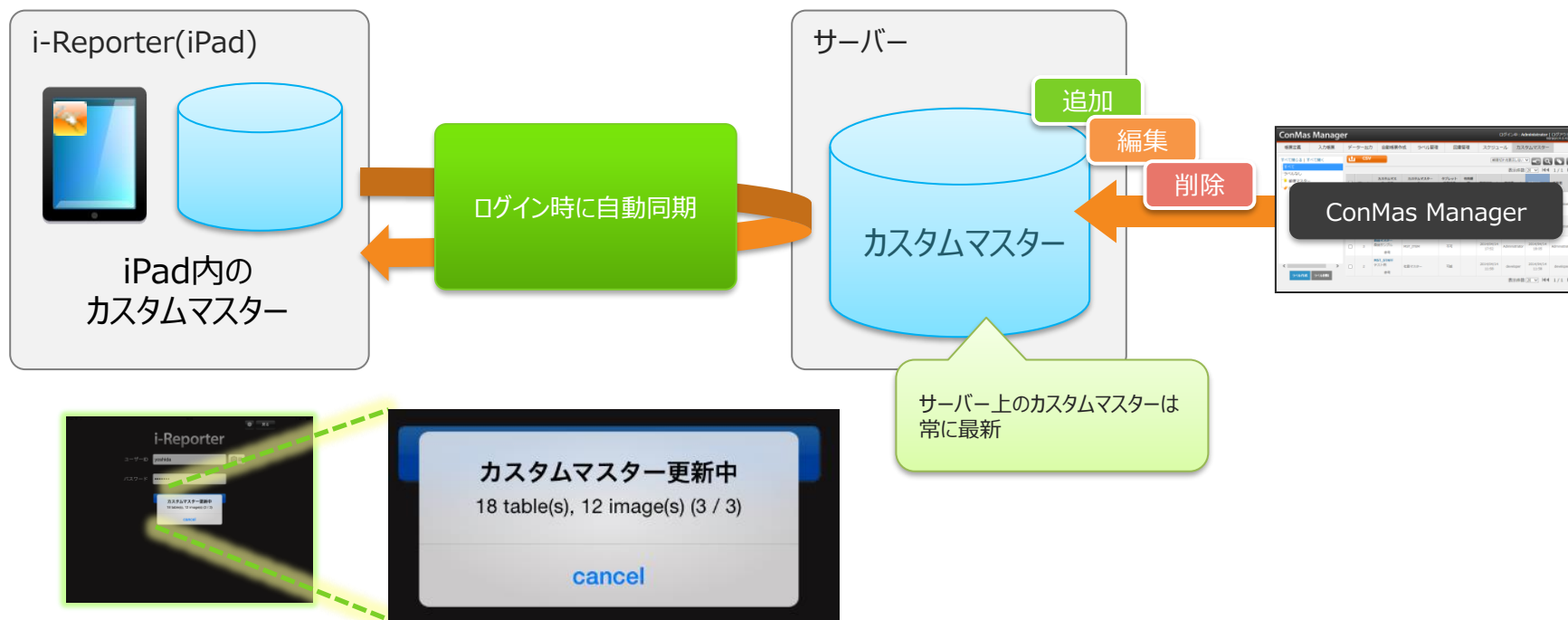
# カスタムマスターの設定順序フロー





# カスタムマスターの自動同期を有効にする

カスタムマスター機能を利用する前に、カスタムマスターの自動同期を有効にします。  
iPadでログインする際に、iPadに保存されているカスタムマスターが、サーバーのカスタムマスターと自動同期され、最新の状態を保ちます。  
デフォルトでは無効になっています。無効の場合でも手動での更新は可能です。



# カスタムマスターの自動同期を有効にする

自動同期を有効にするには、システム管理→共通マスター管理にて設定します。

1. 共通キーより"IPAD\_SETTING"を選択します。
2. 共通項目名称"AUTO\_CUSTOM\_MASTER\_UPDATING"を"0"→"1"に変更します。

共通マスター一覧

No	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	共通項目値	ロケール
0	IPAD_SETTING	0	SAVE_LOCAL_CAMERA_IMAGE	0	
1	IPAD_SETTING	1	AUTO_CUSTOM_MASTER_UPDATING	0	

① IPAD\_SETTINGを選択

② この行を設定します。

③ 0→1に設定します。

共通マスター設定

共通キー	IPAD_SETTING
共通項目インデックス	1
共通項目名称	AUTO_CUSTOM_MASTER_UPDATING
共通項目値	0
ロケール	

共通項目値 1

登録 キャンセル

マスター数が増えてくると通信環境により、同期処理に時間がかかる場合がありますのでご注意ください。  
尚、ダウンロード処理は、iPadでのユーザー操作で処理をキャンセルする事は可能です。

# カスタムマスターの管理権限設定

カスタムマスターを管理するには権限が必要です。

※iPadでの参照権限はカスタムマスターごとに別途設定できます。

「システム管理/グループ管理」の「Manager権限/カスタムマスター」で、ユーザーグループに対してカスタムマスター管理の権限設定を行います。

- 参照：登録済みのカスタムマスターの参照・ダウンロードができます。「参照」を有効にしないとメニューに「カスタムマスター」が表示されません。
- メンテナンス：Managerで、カスタムマスターの登録や編集、削除ができます。

グループ一覧

グループID  グループ名称

表示件数 20 ◀▶ 1 / 1 ▶▶

Manager権限										Designer権限		デフォルト帳票定義権限				備考	
ラベル管理		図書管理		スケジュール		カスタムマスター		カスタムメニュー		新規作成		定義		帳票			
作成	編集					参照	メンテナンス	参照	メンテナンス	参照	編集	削除	参照	作成	編集		削除
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

チェックする

カスタムマスター	
参照	メンテナンス
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

ConMas Manager

ログイン中: 吉田 [Ver. ...]

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール **カスタムマスター**

参照権限をつけるとメニューに「カスタムマスター」が表示されます。

# カスタムマスターの構成

---

# カスタムマスターの構成

カスタムマスターは、マスターの基本情報とフィールドからなるレコード情報で構成されます。

設定項目	内容
カスタムマスターID	カスタムマスターを一意で識別するIDです。内部情報のため変更できません。
カスタムマスター名称	カスタムマスター名称です。iPadではこの名称が表示されます。
カスタムマスターキー	カスタムマスターを一意で識別できるキーです。 カスタムマスターIDは内部値で指定できませんが、こちらは任意の値を設定できます。 一意キーのため、別のマスターと重複出来ません。
タブレット保存可否	iPad上にこのカスタムマスターを「保存する」「保存しない」を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>「保存する」と設定した場合 そのカスタムマスターは自動でiPadへダウンロードされ、常に最新に更新されます。 ※自動同期が有効の場合のみ。</li><li>「保存しない」と設定した場合 常にサーバー上のカスタムマスターを参照します。オフライン状態の場合は参照できません。</li></ul>
手動ダウンロード	手動ダウンロードにすると、自動でダウンロードされなくなります。
タブレット保持期間	手動ダウンロードに設定されたカスタムマスターの場合のみ設定出来ます。 iPadに手動でダウンロードした時点から設定した時間を経過すると、そのカスタムマスターはiPadから削除されます。
有効期限	カスタムマスターの有効期限を設定します。 有効期限を過ぎると、iPadから削除され利用できなくなります。
レコード数	カスタムマスター内の総レコード数を表示します。
更新日時	カスタムマスターの最終更新日時を表示します。

# カスタムマスターのタブレット保存可否設定

## タブレット保存可否が「する」の場合

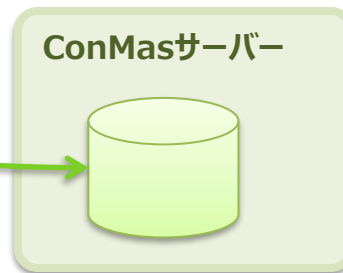
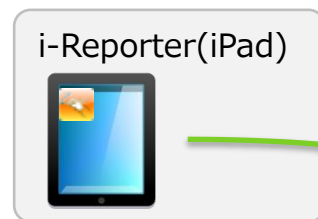
iPadに対象のカスタムマスターが保存されている場合のみカスタムマスターを利用できます。  
サーバーと通信できる環境であれば、いつでも同期可能です。



iPadに保存されているカスタムマスターを参照します。

## タブレット保存可否が「しない」の場合

iPad側は常にサーバーと通信できる環境でないと使用できません。  
iPadへの保存は行われません。



サーバーのカスタムマスターを参照します。

# 手動ダウンロードとiPad保持期間

手動ダウンロードのカスタムマスターは、iPadにダウンロードした時点からiPadに保持できる期間を設定することができます。この期間を超えるとiPadから削除されます。

- iPadでは「手動ダウンロード」のカスタムマスターは、『未ダウンロード』と表示されます。

iPad カスタムマスター	22:39 100%  Back	
すべて	全削除	
ラベルなし	<b>郵便番号マスター</b> 2014/04/14 21:30 未ダウンロード	<b>社員マスター</b> 2014/04/15 14:15 サーバー接続が必要
郵便マスター	<b>テスト用マスター</b> 2014/04/15 22:33 サーバー接続が必要	<b>商品マスター</b> 2014/04/15 14:12 ダウンロード済み
参考	<b>マスターA</b> 2014/04/14 21:29 ダウンロード済み	<b>マスターB</b> 2014/04/14 21:29 ダウンロード済み
顧客	<b>マスターC</b> 2014/04/14 21:29 ダウンロード済み	<b>マスターD</b> 2014/04/14 21:29 ダウンロード済み
商品	<b>マスターE</b> 2014/04/14 21:30 ダウンロード済み	<b>マスターF</b> 2014/04/14 21:30 ダウンロード済み

# カスタムマスターのフィールド構造

カスタムマスターのフィールド構造は以下のようになっています。

レコードキー：固定フィールドです。マスター内でレコードを一意で識別するキーです。

レコードバリュー：固定フィールドです。設定する値はカスタムフィールド同様に使用できます。

カスタムフィールド：100列まで設定できます。列の型を“文字列”“数値”“日付”“時刻”“チェック”から選べます。

カスタム画像フィールド：5列まで設定できます。

※すべての列はフィールド名称を任意に設定できます。

固定フィールド		カスタムフィールド			カスタム画像フィールド		
レコードキー	レコードバリュー	フィールド1	.....	フィールド100	画像フィールド1	.....	画像フィールド5
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....



# カスタムマスター取り込みCSVレイアウトの基本構造

## 基本構造

マスター行：マスター内容の設定 1つのマスターにつき1行

レコード行：レコード内容の設定 1つのマスターにつき0～N行

### ➤ CSVサンプル

```
.....  
"M","M","M_STAFF","社員マスター","0","text;date;numeric;text","社員カナ;入社年月日;年齢;備考","顔写真","0","0","0",...  
"R","M","staff001","X X X X XXX01","","1","xxxxxxx","2012/01/01","30",...  
"R","M","staff002","X X X X XXX02","","1","xxxxxxx","2012/01/01","30",...  
"R","M","staff003","X X X X XXX03","","1","xxxxxxx","2012/01/01","30",...  
"R","M","staff004","X X X X XXX04","","1","xxxxxxx","2012/01/01","30",...  
"R","M","staff005","X X X X XXX05","","1","xxxxxxx","2012/01/01","30",...  
"R","M","staff006","X X X X XXX06","","1","xxxxxxx","2012/01/01","30",...  
.....
```

マスター行

レコード行

サポートWebで配布しているExcelファイル「CustomMasterInputSheet.xlsb」を利用すると、CSVレイアウトを順守したCSVを作成できます。

# カスタムマスター取り込みCSVレイアウト マスター行

## CSVレイアウト：マスター行

No	項目	説明
1	レコード区分	<b>必須項目。</b> "M"固定です。この行がマスター行である事を表す区分となります。
2	アクション区分	<b>必須項目。</b> ※「カスタムマスター定義用Excelブック（CustomMasterInputSheet.xlsb）」を利用する場合は"M"固定となります。 M,Dのいずれかを指定します。 M:マージを意味し、同じマスターキーがすでに登録されていれば更新、なければ追加となります。 D:削除を意味します。同じマスターキーがすでに登録されていれば、そのカスタムマスターを物理削除します。
3	マスターキー	<b>必須項目。</b> カスタムマスターを一意に識別できる値を設定します。同じマスターキーをもつカスタムマスターは登録できません。
4	マスター名称	iPadでカスタムマスター名称として表示される値となります。未設定の場合は、マスターキーの値が入ります。
5	マスター種別	現在は利用しません。※0以外が指定されていても0として登録されます。
6	フィールド型配列	フィールドカラム型をセミicolon";"で区切って指定します。最大 1 0 0 個まで設定できます。 順番は、フィールド名称配列と一致している必要があります。
7	フィールド名称配列	フィールドカラム名称をセミicolon";"で区切って指定します。最大 1 0 0 個まで設定出来ます。 未入力のフィールドはiPad側でフィールドとして認識しませんので、必要なフィールドには何らかの名称を割り当ててください。
8	画像フィールド名称配列	画像フィールドカラム名称をセミicolonで区切って指定します。最大 5 個まで設定できます。 未入力のフィールドはiPad側でフィールドとして認識しませんので、必要なフィールドには何らかの名称を割り当ててください。
9	本体保存可否	0,1のいずれかを指定します。 0:本体保存不可となります。iPadでは「サーバー接続が必要」と表示します。 1:本体保存可となります。 未設定の場合は、1:本体保存可能となります。
10	ダウンロード区分	0,1のいずれかを指定します。 0:自動ダウンロードとなります。自動同期を有効にしていると自動でダウンロードされます。 1:手動ダウンロードとなります。自動同期を有効にしているでも自動でダウンロードされません。 未設定の場合は、0:自動ダウンロードとなります。
11	保持期間	ダウンロード区分が手動ダウンロードの場合のみ有効です。iPadへダウンロードしてからの保持期間を分単位で設定します。
12	有効期限	マスターの有効期限を設定します。フォーマットは"yyyy/MM/dd"です。時刻指定はできません。
13	表示順	マスターの表示順を設定します。0以上の値が設定出来ます。未設定の場合は、0となります。
14	備考	マスター備考を設定します。
15	レコードキーヘッダ名称	レコードキーヘッダ名称を設定します。指定なしの場合"KeyName"となります。
16	レコーバリューヘッダ名称	レコーバリューヘッダ名称を設定します。指定なしの場合"ValueName"となります。
17	権限グループ	参照可能なグループIDをセミicolon区切りで指定します。権限を設定しない場合は空欄にします。
18	ラベルモード	既にこのマスターに対してラベルが付けられており、それを解除する場合は、1 を指定します。何もしない場合は空欄にします。
19	ラベル	ラベルを指定します。 "[icon=1(~10)]"でアイコン指定（省略可） "/"区切りでラベル階層 ";"区切りで複数ラベル

# カスタムマスター取り込みCSVレイアウト レコード行

## CSVレイアウト : レコード行

No	項目	説明
1	レコード区分	必須項目。 "R"固定です。この行がレコード行であることを表す区分となります。
2	アクション区分	必須項目。 M,D,Nのいずれかを指定します。 M: マージを意味し、指定されたレコードキーが既存カスタムマスターのレコード内に存在すれば更新、存在しなければ追加となります。 D: 削除を意味します。指定されたレコードキーが既存カスタムマスターのレコード内に存在すれば、物理削除します。 N: Nは何もしない事を意味します。この行について何も処理しません。
3	レコードキー	必須項目。 ユニークキーです。カスタムマスター内のレコードを一意に識別できる値を設定します。 同じカスタムマスター内で同一キーをもつレコードは登録できません。
4	レコードバリュー	バリュー値の入力値を入力します。
5	権限グループ	参照可能グループIDをセミコロン区切りで複数指定します。 権限設定しない場合は、ブランクです。
6	表示順	マスターの表示順を設定します。0以上の値が設定出来ます。 未設定の場合は、0となります。
7	フィールド1	フィールド1の入力値を設定します。
...	.....	.....
106	フィールド1 0 0	フィールド1 0 0の入力値を設定します。
107	画像フィールド1	画像フィールド1にセットする画像ファイル名を入力します。
...	.....	.....
111	画像フィールド5	画像フィールド1にセットする画像ファイル名を入力します。

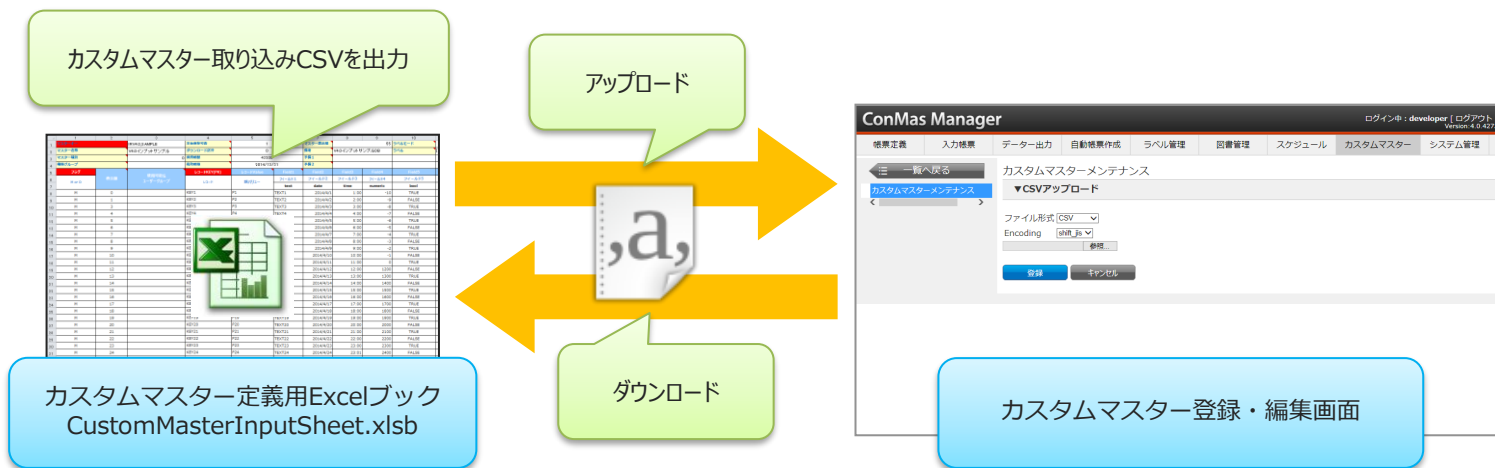
# カスタムマスターの登録

---

# カスタムマスターの登録・更新方法

カスタムマスターの登録・更新はすべてCSVで行います。

- ManagerでCSVファイルをアップロードして登録・更新します。
- サポートWebに公開されている「**カスタムマスター定義用Excelブック**（CustomMasterInputSheet.xlsb）」を利用して、EXCEL上で「カスタムマスター取り込みCSVレイアウト」に準拠したCSVファイルを作成できます。このブックはCSVの読み込みと書き出しが可能です。
- ブックを開く時に「セキュリティ警告」が表示される場合は[**コンテンツの有効化**]を選択してください。  
※「コンテンツの有効化」の詳細は、Microsoft社のサポートページでご確認ください。  
（「ドキュメントを信頼してマクロを有効にする」等で検索すると、確認できます）
- 「カスタムマスター定義用Excelブック（CustomMasterInputSheet.xlsb）」は、「入力シート」シートをコピーして使うことはできません。





# EXCELファイルでのCSV作成

3. マスターの基本情報の各セルに以下の要領にて値を入力します。

	A	B	C
1	マスターキー		IRV4.0_SAMPLE
2	マスター名称		V4.0インプットサンプル
3	マスター種別		0
4	権限グループ		

マスターキー：  
文字列で入力（必須）

マスター種別：  
0を選択してください。

マスター名称：  
文字列で入力を行います。  
指定がない場合はマスターキーが名称となります。

権限グループ：  
参照可能なグループ番号を；で区切って入力します。

# EXCELファイルでのCSV作成

## マスターの基本情報の設定

D	E	F
本体保存可否	1	
ダウンロード区分	0	
保持期間	43200	
有効期限	2014/12/31	

本体保存可否：  
0:不可  
1:可能  
(いずれかで設定)

ダウンロード区分：  
0:自動ダウンロード  
1:手動ダウンロード  
(いずれかで設定)

保持期間：  
数値を分指定で設定  
(未入力場合は設定無)

有効期限：  
yyyy/MM/dd形式で指定  
(未入力の場合は期間無し)



# EXCELファイルでのCSV作成

## マスターの基本情報の設定

G	H	I
マスター表示順		55
備考	V4.0インプット サンプルDB	
予備1		
予備2		

マスター表示順：  
0～の数値で指定（未入力可）

備考：  
マスター備考を文字列で記入（未入力可）

J	K	L
ラベルモード		0
ラベル	[icon=3]Label_A/LabelA-1 ;[icon=4]Label_B	

ラベルモード：  
0 :何もしない  
1 :既にこのマスターに対してラベルが付けられており、それを解除する場合は、1 を指定  
(いずれかで設定)

ラベル：  
入力例の書式にて ; で区切りラベルを指定  
例：  
[icon=3]Label\_A/LabelA-1 ;[icon=4]Label\_B

# EXCELファイルでのCSV作成

4. カスタムマスターテーブルを構成するキー情報とそのフィールドの情報を設定します。

レコードKEY(UK)	レコードValue	Field1	Field2
	親バリュー	フィールド1	フィールド2
		text	date
KEY1	P1	TEXT11	2014/4/1
KEY2	P2	TEXT21	2014/4/2
KEY3	P3	TEXT31	2014/4/3
KEY4	P4	TEXT4	2014/4/4
KEY5	P5	TEXT5	2014/4/5
KEY6	P6	TEXT6	2014/4/6
KEY7	P7	TEXT7	2014/4/7
KEY8	P8	TEXT8	2014/4/8
KEY9	P9	TEXT9	2014/4/9
KEY10	P10	TEXT10	2014/4/10

レコードキーヘッダ名称：  
文字列で名称を入力  
(未入力可)

レコードバリューヘッダ名称：  
文字列で入力  
(未入力可)

フィールド名称：  
文字列で入力  
(未入力可)

フィールド型：  
各入力クラスターに対応させるフィールド  
型を定義し、入力書式は型に応じて以  
下に設定します。

text: 文字列  
date: yyyy/MM/dd書式  
time: hh:mm  
numeric: 数値  
bool: TRUE / FALSE

# EXCELファイルでのCSV作成

5. カスタムマスターテーブルを構成する実際のレコード情報を設定します。

5	フラグ		
6	M or D	表示順	使用可能なユーザーグループ
7			
8	M	1	
9	M	2	
10	M	3	
11	M	4	
12	M	5	

レコード行

使用可能なユーザーグループ：  
参照可能グループを；で区切り指定  
(未入力可)

フラグ：M：マージ動作を行います  
D：削除動作を行います  
空欄：レコード作成を行いません

新規に作成するとき→M  
編集し更新するとき→M  
更新時に変更ないとき→空欄

表示順：レコードの表示する順番を0～の  
数値で指定（未入力可）

# EXCELファイルでのCSV作成

## レコード情報の設定

レコードKEY(UK)	レコードValue	Field1	Field2
	親バリュー	フィールド1	フィールド2
		text	date
KEY1	P1	TEXT11	2014/4/1
KEY2	P2	TEXT21	2014/4/2
KEY3	P3	TEXT31	2014/4/3
KEY4	P4	TEXT4	2014/4/4
KEY5	P5	TEXT5	2014/4/5
KEY6	P6	TEXT6	2014/4/6
KEY7	P7	TEXT7	2014/4/7
KEY8	P8	TEXT8	2014/4/8
KEY9	P9	TEXT9	2014/4/9
KEY10	P10	TEXT10	2014/4/10

レコードキー：  
レコード間で重複しないユニークキーを文字列で設定。  
フラグが空欄でない場合には、必ず指定してください。

レコードバリュー：  
文字列で設定してください  
(未入力も可)

フィールド：  
各フィールド値は、フィールド型で設定した  
書式で入力してください  
(未入力も可)

# EXCELファイルでのCSV作成

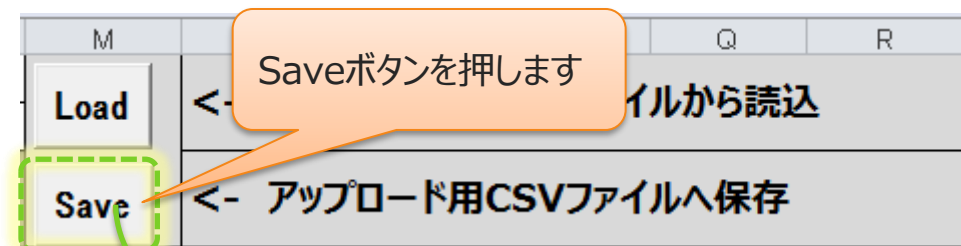
レコード情報の設定：画像情報の設定

Image01	Image02	Image03	Image04	Image05
画像01				
image1.png				
image2.png				
image3.png				
image4.png				
image5.png				

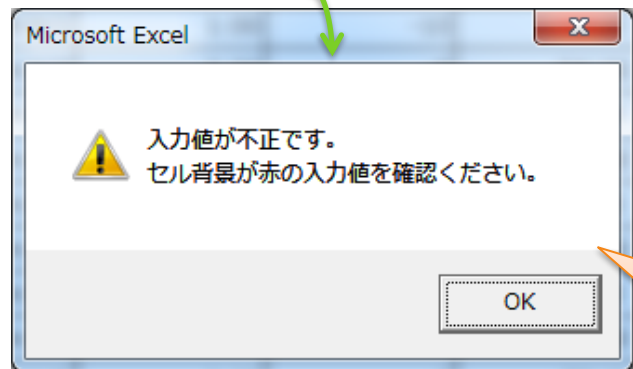
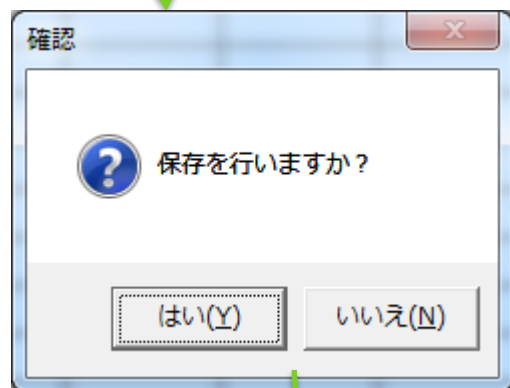
画像フィールド名称：  
文字列で入力。  
(未入力可)

ファイル名：  
画像ファイル名を記入  
(未入力可)

# EXCELファイルからCSV出力



セルに値を入力後、左記の操作を行います。



不正な入力値が存在した場合、メッセージが表示されセル背景が赤く表示されます。

# CSVのアップロード

1. 作成したCSVをManagerにアップロードします。  
Managerのメニュー「カスタムマスター」→「カスタムマスターメンテナンス」ボタンをクリックし、メンテナンス画面を表示します。

The screenshot shows the ConMas Manager interface. The main window displays a table of custom masters. The table has columns for 'マスター名' (Master Name), 'カスタムマスターキー' (Custom Master Key), 'タブレット保存可否' (Tablet Storage Available), '有効期限' (Validity Period), '登録日時' (Registration Date/Time), '登録者' (Registered User), '更新日時' (Update Date/Time), and '更新者' (Updated User). The '更新日時' column is highlighted in blue. A green dashed box highlights the '更新日時' column header, and a green arrow points from it to the 'CSVアップロード' section of the modal window.

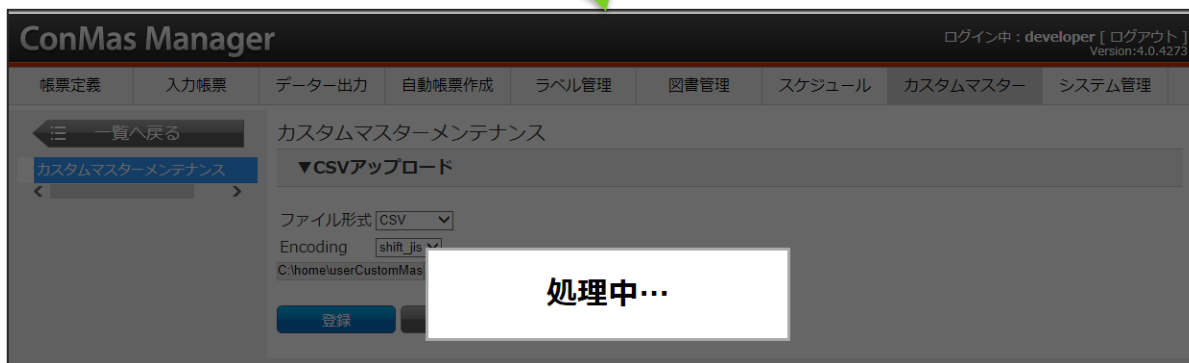
The modal window titled 'ConMas Manager' shows the 'カスタムマスターメンテナンス' (Custom Master Maintenance) screen. The 'CSVアップロード' (CSV Upload) section is active, showing the following fields:

- ファイル形式 (File Format): CSV
- Encoding: shift\_jis
- 参照... (Reference...)
- 登録 (Register) button
- キャンセル (Cancel) button

マスター名	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	登録日時	登録者	更新日時	更新者
...	...	...	...	...	...	...	...
...	IRV4.0_SAMPLE	可能	...	...	...	...	...
...	社員マスター	不可	...	...	...	...	...
...	MST_ITEM	可能	...	...	...	...	...
...	MST_CUSTOMER	可能	...	...	...	...	...

# CSVのアップロード

2. ファイル形式を「CSV」、EncodingはアップロードするCSVファイルのエンコードを指定します。ラベルの位置設定は、次ページをご参照ください。  
ファイルを選択して登録ボタンをクリックすると、アップロードが開始されます。  
※画像フィールドに画像をセットする場合は、ファイル形式に“CSV\_ZIP”を指定します。



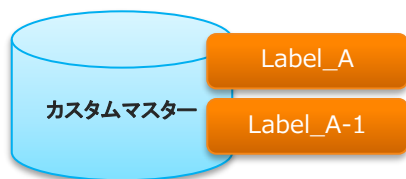


# ラベルの位置設定

## ラベルの位置設定

J	K
ラベルモード	
ラベル	[icon=3]Label_A/LabelA-1

CSVの“ラベル”が、「Label\_A/LabelA-1」のように階層の場合、作成されたカスタムマスターには、「Label\_A」、「LabelA-1」の2つのラベルが付きます。



カスタムマスターメンテナンス

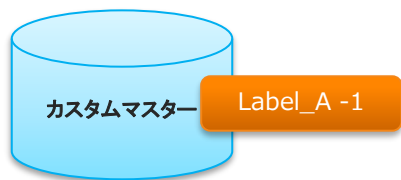
▼CSVアップロード

ファイル形式

Encoding

ラベルの位置設定  ※チェックすると、アップロードファイル中の“ラベル”が階層設定されていた場合に、一番下のみラベルが付きます。

登録時に画面の「ラベルの位置設定」にチェックを入れておくことで、**階層の一番下のラベルのみ**を付けることができます。



# CSVのアップロード

3. 完了すると「正常に取り込みました」と表示されます。



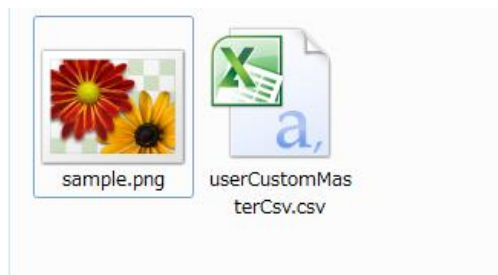
The screenshot shows the ConMas Manager web application interface. At the top, the title "ConMas Manager" is displayed on the left, and the user information "ログイン中 : developer [ ログアウト ]" and "Version:4.0.4273" are on the right. A navigation menu below the title includes "帳票定義", "入力帳票", "データ出力", "自動帳票作成", "ラベル管理", "図書管理", "スケジュール", "カスタムマスター", and "システム管理". The main content area is titled "カスタムマスターメンテナンス" and contains a sub-section "▼CSVアップロード". Below this, there are two dropdown menus: "ファイル形式" set to "CSV" and "Encoding" set to "shift\_jis". A green dashed box highlights a message box containing the text "正常に取り込みました。". Below the message box are two buttons: "登録" (Register) and "キャンセル" (Cancel).

# 画像付のCSVを作成、アップする方法

1. CSVの画像フィールドにセットしたい画像ファイル名を拡張子つきで入力します。

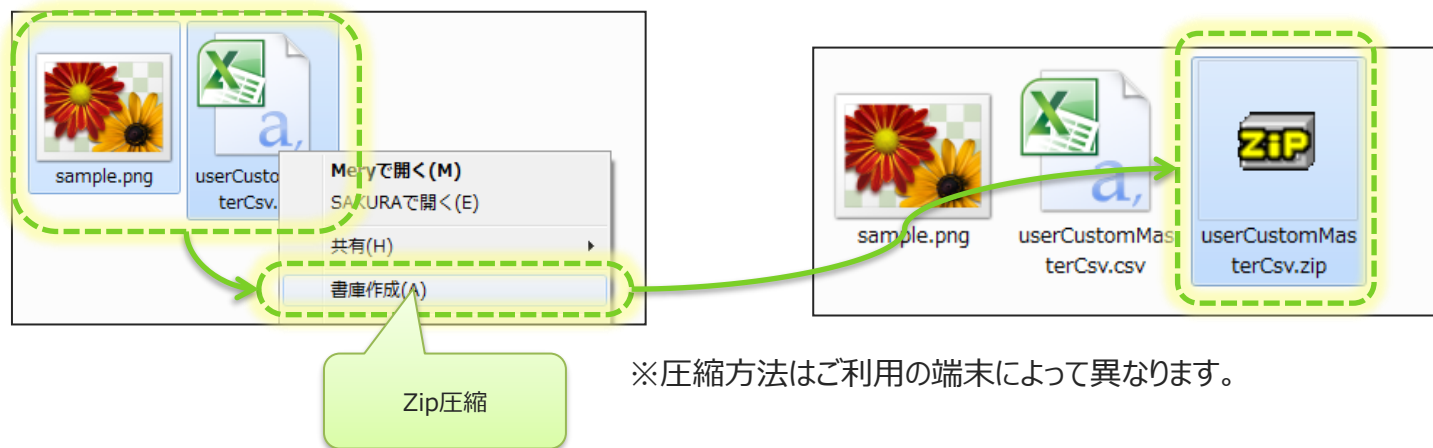
EXCELの場合		MST_ITEM					
マスター名称		商品マスター					
マスター種別		0					
権限グループ							
フラグ	表示順	使用可能な ユーザーグループ	Field98	Field99	Field100	Image01	Image02
M or D						画像フィールド	
D	10					sample.png	
M	100						
	101						
	11						

2. 取り込みCSVと対象の画像ファイルを同一フォルダ内に配置します。

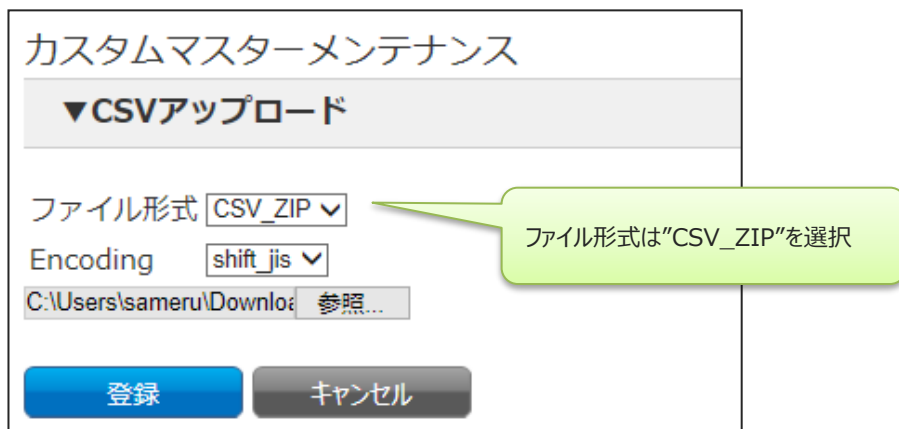


# 画像付のCSVを作成、アップする方法

3. 取り込みCSVと画像ファイルを複数選択し、Zip圧縮を行います。



4. Zipファイルをアップロードします。



# カスタムマスターの更新

---

# カスタムマスターの更新

登録済みのカスタムマスターを更新する場合は、CustomMasterInputSheet.xlsbを使用します。  
レコードの追加や変更、削除を行うことができます。

## ■ 注意事項

Managerから出力したCSVは、Excelで保存せずにご利用ください。

# カスタムマスターをManagerから取得する

メニュー「カスタムマスター」をクリックしてカスタムマスター一覧を表示します。

1. CSVダウンロードする対象のカスタムマスターにチェックを入れます。
2. “CSV”ボタンをクリックするとCSVダウンロードが開始されます。

※「カスタムマスター情報」画面からもCSVをダウンロードする事が可能です。

※複数のカスタムマスターにチェックをいれると1つのCSVにまとめてダウンロードされます。

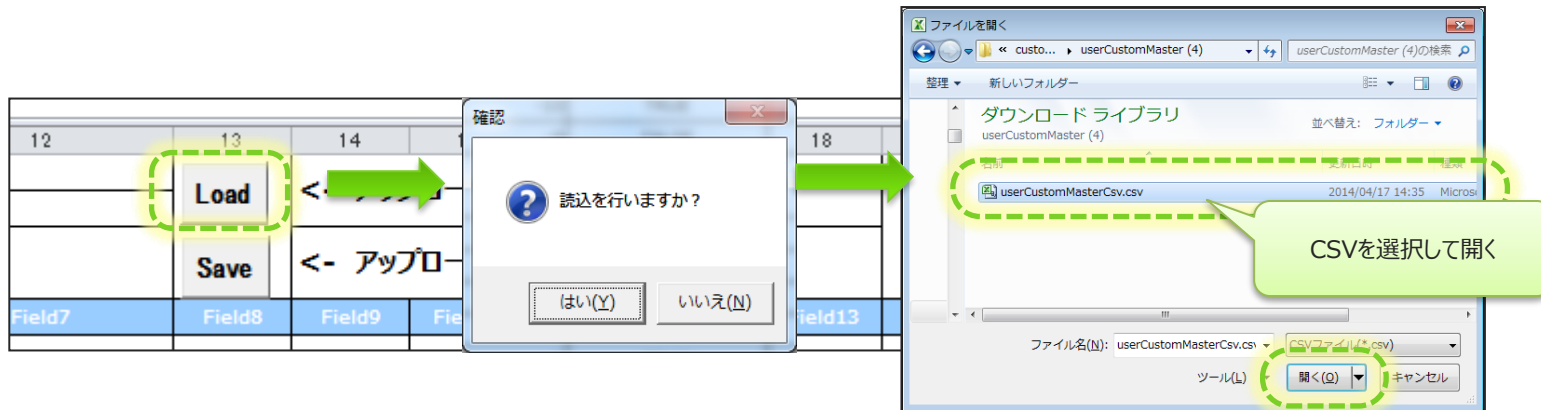
Excelファイル“**CustomMasterInputSheet.xlsb**”は1 CSVにつき1 カスタムマスターにしか対応していないので利用できません。利用する場合は、1つだけチェックしてください。

The screenshot shows the ConMas Manager interface. The top navigation bar includes tabs for 帳票定義, 入力帳票, データ出力, 自動帳票作成, ラベル管理, 図書管理, スケジュール, カスタムマスター, and システム管理. The 'カスタムマスター' tab is active. Below the navigation bar, there is a 'すべて閉じる | すべて開く' button and a 'CSV' button with a download icon, which is highlighted with a dashed green box. A table lists custom masters with columns for ID, name, key, and other details. The row for '商品マスター 商品サンプル' (ID 3) has its checkbox checked and is also highlighted with a dashed green box. The table data is as follows:

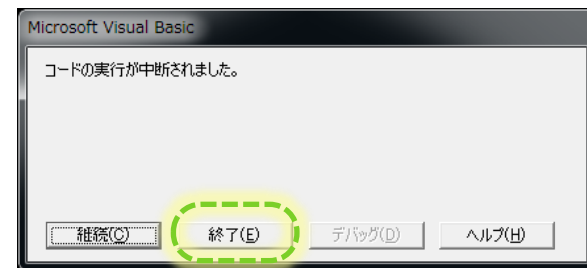
ID	カスタムマスター名称	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	登録日時	登録者	更新日時	更新者
3	商品マスター 商品サンプル	MST_ITEM	可能	2014/06/30	2014/04/14 17:52	Administrator	2014/04/17 13:06	developer
15	V4.0インプットサンプル V4.0インプットサンプル DB	IRV4.0_SAMPLE	可能	2014/12/31	2014/04/16 15:59	高橋 大	2014/04/16 17:33	高橋 大

# CSVをツールに展開する

「CustomMasterInputSheet.xlsb」にダウンロードしたCSVを展開します。



進捗状況をステータスバーに表示します。  
中断したい場合はESCキーを押して終了します。



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マスタ種別	MSTJTEM	本体保存可否	1	マスタ表示モード	ラベルモード						
マスタ名称	商品マスタ	ダウンロード区分	0	備考	商品サンプル	ラベル	参考/参考/商品				
マスタ編別		保留期間	0	字種1							
編別グループ		有効期限	2014/6/30	字種2							
フラグ	表示順	使用可能ユーザグループ	レコードKEY(PK)	レコードValue	Field1	Field2	Field3	Field4	Field5	Field6	Field7
M or D			商品コード	商品名	販売数量	販売価格	在庫数量	在庫数量			
M	100		100	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	101		101	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	11		11	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	12		12	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	13		13	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	14		14	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	15		15	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	16		16	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	17		17	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	18		18	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	19		19	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	2		2	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	20		20	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	21		21	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	22		22	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	23		23	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	24		24	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	25		25	商品名	numeric	numeric	numeric	numeric			
M	26		26	レンジ機 RH-S1 W	19200	10380	21857	21857			
M	27		27	レンジ機 RH-S1 BLA	24800	11490	20161	20161			
M	28		28	レンジ機 RH-S1 O	24800	11490	32165	32165			

ダウンロードしたCSVがExcelに展開されます



# カスタムマスターを更新する

レコードの追加や変更、削除に応じて、各レコードのフラグを指定します。

- レコードを追加するときは、「M」
- 編集、更新するときは、「M」
- 変更がないレコードは空欄

5	フラグ	表示順	使用可能な ユーザーグループ
6	M or D		
7			
8	M	1	
9	M	2	
10	M	3	
11	M	4	
12	M	5	

フラグ : M : 追加、マージ  
D : 削除  
空欄 : 未処理

# カスタムマスターの管理

---

# カスタムマスターの一覧表示

登録済みのカスタムマスターを一覧表示します。

The screenshot displays the 'ConMas Manager' interface. At the top, there are navigation tabs: 帳票定義, 入力帳票, データ出力, 自動管理, スケジュール, カスタムマスター, and システム管理. The user is logged in as 'developer' [ ログアウト ] with version 4.0.4273.

Callouts and features shown:

- カスタムマスターをダウンロード**: Points to the 'CSV' download button.
- 有効期限による絞り込み**: Points to the '期限切れを表示しない' dropdown menu.
- カスタムマスター名等での検索絞り込み**: Points to the search icon.
- カスタムマスター名称をクリックすると詳細画面に移動します。**: Points to a row in the table.
- ログインユーザーが参照可能なラベルのみ表示**: Points to the '参考' (Reference) filter in the left sidebar.
- ラベルの登録・削除**: Points to the 'ラベル作成' and 'ラベル削除' buttons at the bottom left.

ID	カスタムマスター名称	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	登録日時	登録者	更新日時	更新者
2	MST_STAFF テスト用 参考	社員マスター	可能		2014/04/14 11:58	developer	2014/04/14 21:31	developer
3	商品マスター 商品サンプル 商品 参考				2014/04/14 18:16	Administrator	2014/04/14 21:30	developer
4	顧客マスター 顧客サンプル 顧客 参考	MST_CUSTOMER	可能		2014/04/14 18:16	Administrator	2014/04/14 21:30	developer
1	郵便番号マスター 郵便12万 郵便マスター	MST_YUBIN_TABLE	可能 手動ダウンロード		2014/04/12 16:53	developer	2014/04/14 21:30	developer
5	マスターG サンプル	MST_TEST01	可能		2014/04/14 21:28	developer	2014/04/14 21:30	developer

# カスタムマスターの設定内容を確認する

カスタムマスター情報画面では、詳細情報を確認できます。

ConMas Manager

ログイン中 : developer [ ログアウト ]  
Version:4.0.4273

帳票定義 | 入力帳票 | データ出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | 図書管理 | スケジュール | **カスタムマスター** | システム管理

一覧へ戻る  
**カスタムマスター情報**  
編集参照

### カスタムマスター情報

▼カスタムマスター情報	
カスタムマスターID	1
カスタムマスター名称	郵便番号マスター
カスタムマスターキー	MST_YUBIN_TABLE
タブレット保存可否	する
手動ダウンロード	有効
タブレット保持期間	
有効期限	
レコード数	126000
更新日時	2014/04/14 21:30:31

▼マスターレコードプレビュー表示

住所CD	<input type="text"/>
------	----------------------

# カスタムマスターのレコードを確認する

カスタムマスター情報画面で、最大10レコードまで内容を確認できます。

- 全レコード情報を確認するには、CSVダウンロードを行ってください。

▼マスターレコードプレビュー表示

マスターキー、マスターバリューで検索可能です。



レコードキー

商品コード

部分一致検索  完全一致検索

検索

- 部分一致：部分一致検索します。※大文字小文字、半角全角無視した検索を行います。
- 完全一致検索：完全一致検索します。

レコードキー	商品コード	商品名	Product Name	入数	サイズ (縦)	サイズ (横)	サイズ (高)	重量 (Kg)	梱包形態	単価	単位	Unit	画像
CT10001	A-01	商品 A-01	Product A-01	30	50	20	30	5	Carton Box	1500	個	pcs	
CT10002	A-02	商品 A-02	Product A-02	20	50.2	30	32.5	8	Carton Box	4039	枚	sheets	

# カスタムマスターのラベル・参照権限情報を確認する

カスタムマスター情報画面で、ラベル情報、参照権限を確認できます。

▼ラベル情報	
ラベル	備考
郵便マスター	

## グループ別権限設定画面

☰ 一覧へ戻る
カスタムマスター情報
<b>権限</b>
履歴参照

▼グループ別権限設定		
グループID	グループ名称	
権限設定なし		
20	CIMTOPS	参照可能
16	外部開発者グループ	参照可能
17	外部開発者グループ/参照_作成_編集	参照可能
18	外部開発者グループ/参照_作成_編集/参照_作成	参照可能

# カスタムマスターの設定内容を変更する

編集ボタンをクリックして編集画面を表示します。

- レコードの編集はCSVアップロードで行います。

The screenshot shows the ConMas Manager interface. The top navigation bar includes '帳票定義', '入力帳票', 'データ出力', '自動帳票作成', 'ラベル管理', '図書管理', 'スケジュール', 'カスタムマスター', and 'システム管理'. The 'カスタムマスター' menu item is selected. Below the navigation bar, there is a 'カスタムマスター情報' section. A callout bubble labeled '編集ボタン' points to a pencil icon in the top right corner of this section.

The second screenshot shows the 'カスタムマスター情報' edit form. At the top, there are '登録' and 'キャンセル' buttons. Below them is a section titled '▼カスタムマスター情報' containing a form with the following fields:

カスタムマスターID	3
カスタムマスター名称	商品マスター
タブレット保存可否	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
手動ダウンロード	<input type="checkbox"/>
タブレット保持期間	<input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
有効期限	<input type="text"/>

Callouts include '登録' pointing to the registration button and '設定内容を変更する' pointing to the form fields.

# カスタムマスターのレコード全削除

カスタムマスターのレコード削除は一覧画面で行います。

- この削除は、削除対象となったカスタムマスター内の全レコードが削除されます。
- カスタムマスター自体の削除は行いません。
- 帳票定義との紐づけはそのままに、レコード情報のみクリアされたい場合に便利な機能です。

ConMas Manager

ログイン中: guest [ ログアウト ]  
Version: 6.3.19122

帳票定義 | 入力帳票 | データ出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | 図書管理 | スケジュール | カスタムマスター | カスタムメニュー | システム管理

すべて閉じる | すべて開く

CSV

期限切れを表示しない

表示件数 20 1 / 1 (8)

<input type="checkbox"/>	ID	カスタムマスター名称	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	登録日時	登録者	更新日時
<input type="checkbox"/>	8	商品マスタ(Demo Sample)保持期限 製造マスター 全クラスターインプットサンプル	CustomMaster001hoji	可能 手動ダウンロード 10 (分)		2022/03/16 15:33	karakama	2022/03/16 15:33
<input type="checkbox"/>	7	商品マスタ(Demo Sample)_kara2	kara_test02	不可		2022/03/16 15:33	karakama	2022/03/16 15:33
<input type="checkbox"/>	4	商品マスタ(Demo Sample)_kara	kara_test01	可能		2022/03/16 15:33	karakama	2022/03/16 15:33
<input type="checkbox"/>	-100	商品マスタ(Demo Sample)	BuiltInCustomMaster001	可能		2014/05/13 10:00		2014/05/13 10:00
<input type="checkbox"/>	-101	顧客マスタ(Demo Sample)	BuiltInCustomMaster002	可能		2014/05/13 10:00		2014/05/13 10:00

表示件数 20 1 / 1 (5)

ラベル作成 | ラベル削除

① レコード削除したいカスタムマスターをチェック

② レコード全削除ボタンをクリック



# カスタムマスターの削除

カスタムマスターの削除は一覧画面で行います。

- この削除は、完全削除となります。
- 論理削除を行いたい場合には、有効期限を設定する事で代用できます。
- 削除対象となったカスタムマスター自体が削除されます。

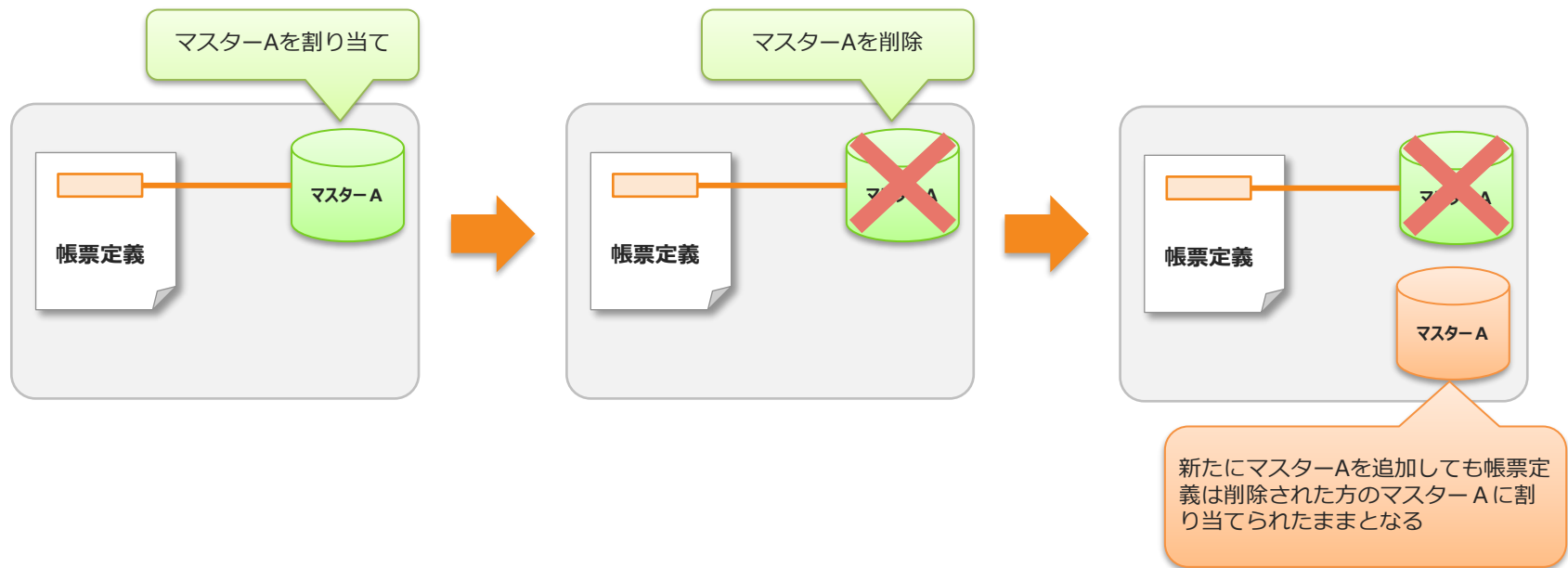
The screenshot shows the 'ConMas Manager' interface. The top navigation bar includes '帳票定義', '入力帳票', 'データ出力', '自動帳票作成', 'ラベル管理', '図書管理', 'スケジュール', 'カスタムマスター', and 'システム管理'. The 'カスタムマスター' tab is active. The main area displays a table of custom masters. The first row is selected, and a callout box labeled '① 削除したいカスタムマスターをチェック' points to the checkbox. Another callout box labeled '② 削除ボタンをクリック' points to the trash icon in the top right corner of the table area.

ID	カスタムマスター名称	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	登録日時	登録者	更新日時	更新者
4	顧客マスター 顧客サンプル 顧客 参考	MST_CUSTOMER	可能		2014/04/14 18:16	Administrator		
1	郵便番号マスター 郵便12万 郵便マスター	MST_YUBIN_TABLE	可能 手動ダウンロード		2014/04/12 16:53	developer	2014/04/14 21:30	developer
2	社員マスター テスト用 社員マスター 参考	社員マスター	不可		2014/04/14 11:58	developer	2014/04/15 14:15	developer
3	商品マスター 商品サンプル 商品 参考	MST_ITEM	可能		2014/04/14 17:52	Administrator	2014/04/15 14:12	developer
	マスターF				2014/04/14		2014/04/14	

# カスタムマスター削除の注意点

カスタムマスターを削除後、同じマスターキーのカスタムマスターを登録しても、別のカスタムマスターとして登録されます。

このため、すでに帳票定義に割り当て済のカスタムマスターを削除すると、Designerで帳票定義の再設定が必要になりますのでご注意ください。



# カスタムマスター用のラベルを設定する

---

# ラベル管理でのカスタムマスター用ラベルの設定

- 「ラベル管理画面」の左のツリーにある、「カスタムマスター」をクリックします。
- 画面右上の追加[+]ボタンをクリックします。
- 既存のラベルの下にラベルを追加するには、ラベルを選択した状態で追加[+]ボタンをクリックします。ラベルを選択していない場合は最上位階層にラベルが追加されます。

ConMas Manager

ログイン中: developer [ ログアウト ]  
Version: 4.0.4273

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | **ラベル管理** | 図書管理 | スケジュール | カスタムマスター | システム管理

ラベル管理

- 定義
- 帳票
  - 図書ラベル
    - 共通ドキュメント
    - 帳票別ドキュメント
  - カスタムマスターラベル
    - カスタムマスター**

カスタムマスター:ラベル一覧

▼ラベル

ツリー表示 | 一覧表示

すべて閉じる | すべて開く

郵便マスター

参考

追加ボタン

ラベルを選択

ラベル作成

ラベル名称

備考

選択したラベルと同階層に作成 | 選択したラベル配下に作成 | キャンセル

# カスタムマスター用ラベルの編集

ラベル情報、グループ別権限情報を設定します。

- ラベルを選択し編集ボタンをクリックします。
- ラベルの編集画面で、「▼ラベル情報」、「▼グループ別権限情報」の2つを編集します。

The screenshot shows the ConMas Manager interface. The top navigation bar includes '帳票定義', '入力帳票', 'データ出力', '自動帳票作成', 'ラベル管理', '図書管理', 'スケジュール', 'カスタムマスター', and 'システム管理'. The left sidebar shows a tree view with 'カスタムマスター' selected. The main area displays 'カスタムマスター:ラベル一覧' with a list of labels. The '郵便マスター' label is selected, and a callout box says 'ラベルを選択'. A green arrow points from this callout to the edit button (a square with a pencil icon) in the top right of the list. Another green arrow points from the edit button to the edit form below.

The edit form, titled '▼ラベル情報', contains the following fields:

ラベルID	1
ラベル名称	郵便マスター
親ラベル	<input type="text" value="▼"/>
アイコン	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
備考	<input type="text"/>
表示順	<input type="text" value="1"/>

# カスタムマスター用ラベルの参照権限設定

グループ別の参照権限を設定します。

- 「▼グループ別権限情報」で、グループ毎にラベルの参照可否を設定します。
- 「権限設定なし」をチェックすると、すべてのグループで参照できるようになります。

▼グループ別権限設定

権限設定なし  
● チェック有：参照可能    チェック無：参照不可

ID	グループ名称	
20	CIMTOPS	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
16	外部開発者グループ	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
17	外部開発者グループ/参照_作成_編集	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
18	外部開発者グループ/参照_作成_編集/参照_作成	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
19	外部開発者グループ/参照_作成_編集/参照_作成/参照	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
31	承認用	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
1	本社システム管理	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
3	本社システム管理/A管理グループ	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能

全てのグループをチェックできます

参照可能なグループにチェック

# カスタムマスター一覧でのラベルの設定

ラベルは、カスタムマスター一覧からも設定可能です。

- ラベルの下に新たなラベルを追加するには、画面左のラベルツリーでラベルを選択し、ツリー下部の「ラベル作成」ボタンをクリックします。
- 何もラベルを選択していない場合は最上位階層にラベルが作成されます。
- ラベルを選択した状態で「ラベル削除」ボタンをクリックすると、選択しているラベルが削除されます。

ConMas Manager

ログイン中 : developer [ ログアウト ]  
Version:4.0.4273

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | 図書管理 | スケジュール | カスタムマスター | システム管理

すべて閉じる | すべて開く

すべて

ラベルなし

郵便マスター

参考

顧客

商品

CSV

期限切れを表示しない

表示件数 20

ID	カスタムマスター名称	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	登録日時	登録者	更新日時	更新者
13	V4.0インプ マスター V4.0インプ DB							
4	顧客マスタ 顧客サンプ							
3	商品マスタ 商品サンプ							
2	社員マスタ テスト用							
14	テスト用マ 商品サンプ							

ラベル作成

ラベル名称

備考

選択したラベルと同階層に作成 | 選択したラベル配下に作成 | キャンセル

# カスタムマスターにラベルをつける

カスタムマスター情報の編集画面でラベルを設定する事ができます。

- 「ラベル情報」の一覧からつけたいラベルにチェックし、登録します。

## カスタムマスター情報




登録

キャンセル

### ▼カスタムマスター情報

カスタムマスターID	-101
カスタムマスター名称	<input type="text" value="顧客マスタ(Demo Sample)"/>
タブレット保存可否	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
手動ダウンロード	<input type="checkbox"/>
タブレット保持期間	<input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
有効期限	<input type="text"/>

### ▼ラベル情報

ラベル	備考
<input type="checkbox"/>  Label_A	
<input type="checkbox"/>  Label_A/LabelA-1	
<input type="checkbox"/>  Label_B	

登録

キャンセル



# カスタムマスターにラベルをつける（一覧画面）

カスタムマスター一覧画面でもラベルを設定できます。

- ラベルをつけたいカスタムマスターを一覧から選びチェックします。
- 右上のラベルボタンをクリックすると、「ラベルを付ける」画面が表示されるので、ラベルにチェックを入れ追加ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'ConMas Manager' application interface. The 'ラベル管理' (Label Management) tab is active. A table lists custom masters with columns for ID, name, key, tablet save status, validity period, and registration date. The row for '顧客マスター' (Customer Master) is selected. A modal window titled 'ラベルを付ける' (Attach Label) is open, showing checkboxes for '郵便マスター', '参考', '参考/顧客', and '参考/商品'. The '追加' (Add) button is highlighted.

ID	カスタムマスター名称	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	登録日時
13	V4.0インプットサンプル V4.0インプットサンプル DB 顧客 商品 郵便マスター 参考	IRV4.0_SAMPLE	可能 手動ダウンロード 4503(分)	2015/01/31	2014/04/15 16:20
4	顧客マスター 顧客サンプル 顧客 参考	MST_CUSTOMER	可能		2014/04/14 18:16
3	商品マスター 商品サンプル 商品 参考	MST_ITEM	可能		2014/04/14 17:52
2	社員マスター テスト用 社員マスター 参考	社員マスター	不可		2014/04/14 11:58
14	テスト用マスター 商品サンプル	MST_TEST0001	不可		2014/04/15 22:33

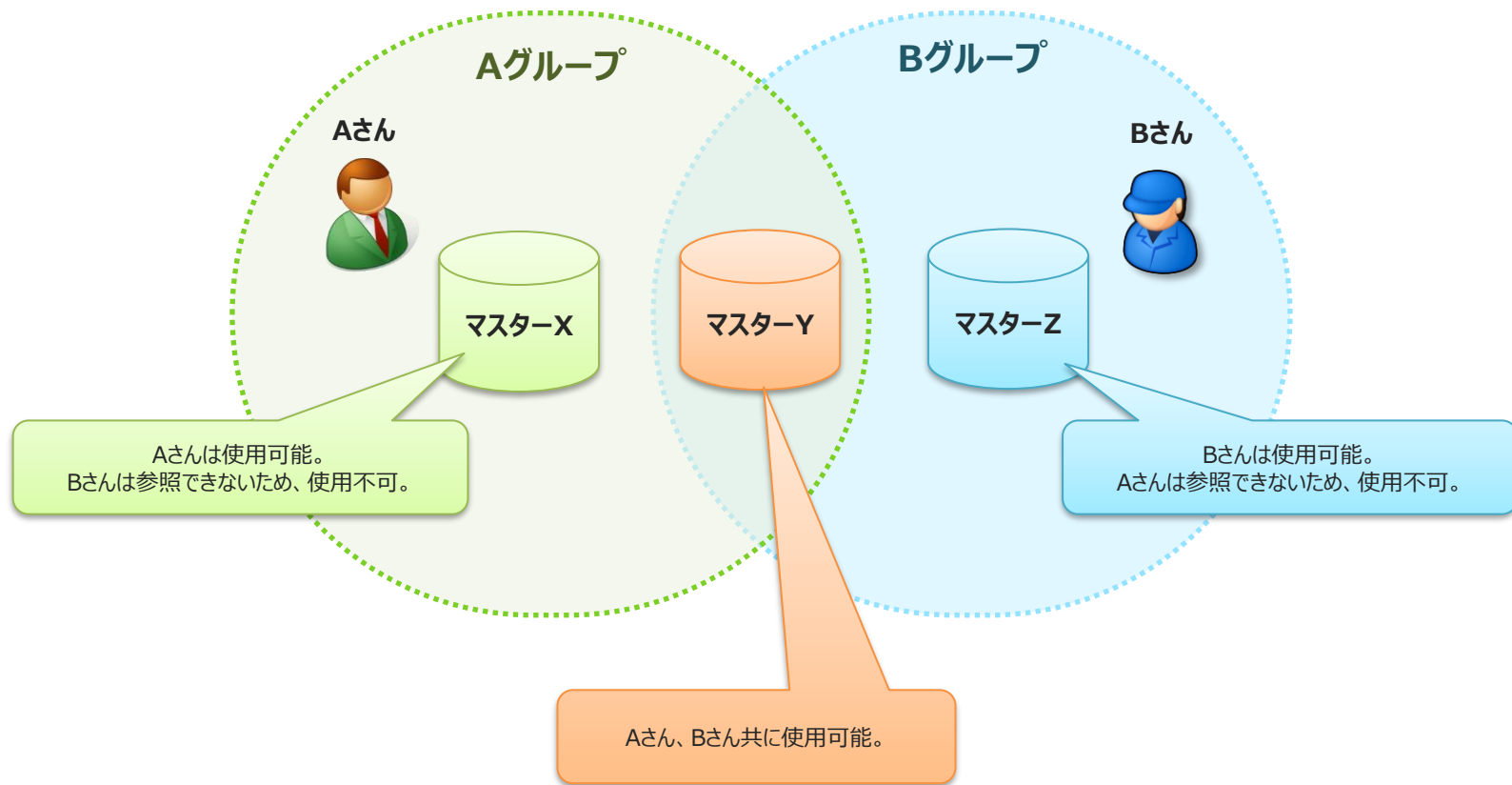
# カスタムマスター参照権限を設定する

---

# カスタムマスター参照権限

カスタムマスターごとにグループ別権限設定を行えます。

- ユーザーグループごとの設定となるため、ユーザーはいずれかのグループに属している必要があります。



# カスタムマスターの参照権限設定

カスタムマスター情報の編集画面でグループ別権限設定を編集します。

- 「▼グループ別権限設定」でグループ毎に参照可否を設定します。
- 「権限設定なし」をチェックすると、すべてのグループで参照できるようになります。

▼グループ別権限設定

権限設定なし  
 チェック有：参照可能     チェック無：参照不可

グループID	グループ名称	
20	CIMTOPS	<input type="checkbox"/>
16	外部開発者グループ	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
17	外部開発者グループ/参照_作成_編集	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
18	外部開発者グループ/参照_作成_編集/参照_作成	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
19	外部開発者グループ/参照_作成_編集/参照_作成/参照	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
31	承認用	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
1	本社システム管理	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
3	本社システム管理/A管理グループ	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
5	本社システム管理/A管理グループ/第1現場管理	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
9	本社システム管理/A管理グループ/第1現場管理/作業1G	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
10	本社システム管理/A管理グループ/第1現場管理/作業2G	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能

全てのグループをチェックできます

グループ毎に参照可否を設定

# カスタムマスターのダウンロード履歴

---

# iPadへのダウンロード履歴を参照

## iPadにカスタムマスターをダウンロードした履歴の参照

- iPadへのカスタムマスターのダウンロード履歴をサーバー側で記録しています。
- カスタムマスター別に、どのユーザーが、いつ、どの端末にダウンロードしたかをサーバー側で閲覧できます。

履歴参照情報

▼カスタムマスター

履歴参照

① ダウンロード履歴を参照するカスタムマスターを選択表示し履歴参照をクリック

▼検索条件

検索対象  ダウンロード履歴

操作日  ~

操作ユーザー: ID

操作ユーザー: 名称

操作端末: ID

操作端末: 名称

② 検索条件を入力。何も設定しない場合には全件表示

③ 検索ボタンをクリック。

▼検索結果

表示件数 20 1 / 1

操作日	操作ユーザー: ID	操作ユーザー: 名称	操作端末: ID	操作端末: 名称
2014/04/14 21:50:13	yoshida	developer	16	yoshidaPad
2014/04/14 21:48:15	user01	ユーザー 0 1	24	oidePad Mini
2014/04/14 21:46:16	yoshida	developer	140	iPadAirYoshida
2014/04/14 20:17:20	yoshida	developer	140	iPadAirYoshida
2014/04/14 19:09:22	yoshida	developer	140	iPadAirYoshida
2014/04/14 19:06:55	yoshida	developer	140	iPadAirYoshida
2014/04/14 18:05:52	yoshida	developer	140	iPadAirYoshida
2014/04/14 18:05:45	yoshida	developer	140	iPadAirYoshida

④ ダウンロードした履歴を表示  
日時  
ユーザーID、ユーザー名称  
端末ID、端末名称